

中等教育研究開発室年報 第33号 (2020年3月31日発行) 別冊電子版  
2019年度 授業実践事例

英語科 高等学校第Ⅱ学年

探究する自律型学習者—統合的な言語活動を通して—

授業者 村田 修

(教育研究大会 公開授業)

広島大学附属中・高等学校



## 高等学校 外国語科(英語) 学習指導案

指導者 村田 修

**日時** 令和元年 11 月 29 日(金) 第 1 限 9:30~10:20  
**場所** 第 1 研修室  
**学年・組** 高等学校Ⅱ年 2 組 39 人 (男子 21 人 女子 18 人)  
**単元** 問いを立てる

Lesson 9 The Vancouver Asahi

*Revised ELEMENT English Communication II* (啓林館)

- 目標**
1. 会話を継続するための表現を用いて話す。(知識・技能)
  2. 説明文を読んで自分自身や実社会に結びつく問いを立てる。(思考・判断・表現)
  3. 問いに対する自分の答えを伝え合う。(主体的に学習に取り組む態度)

### 指導計画 (全 6 時間)

- 第一次 教科書本文の内容・言語材料の理解 3 時間  
第二次 問いづくり 問いへの解答 意見交換 2 時間 (本時 5/6)  
第三次 学びの振り返り 1 時間

### 授業について

コミュニケーション英語Ⅱの授業では読んだことについて話したり、話したことについて書くなど技能統合型の言語活動を多く取り入れている。中でも聞くこと・話すことを重視し、本単元では話すことの中でもやりとりの力を育むことを目指している。

普段の授業においては教科書の英文や言語材料についての分析的な扱いは過剰にならないよう留意している。例えば新出単語熟語集については年度当初に配布し、2 学期後半より和訳先渡しとしている。これらは教科書の内容理解に時間をかけすぎず、内容をもとに考える活動に繋げるためである。

本単元では教科書を読んで自分自身や実社会に結びつく問いを立て、意見を交換し、それをクラス全体で共有し価値観を広げるといった流れとなっている。

相手の価値観が違うという前提のもと、多様な価値観を伝え合うことを目指す。ここでは 3 人組を“トリオ”として設定している。3 人という単位の中で自分の意見を述べる、または他者に意見を求めながら会話を継続する力を養うことも目的としている。

本授業を考えるにあたり、以下の内容を参考とした。

- ・トリオ (トライアングル) ディスカッション・・・3 人組で話をするすることで、ペア (2 人組) よりも深く多様な内容に到ることや、話を振るなど対話中の自らの役割を見出すことを目指す。
- ・自律型ノート・・・分かったことを図や絵、言葉でまとめ、自ら問いを立てて自分なりの意見を書き込むことで思考の過程を記録し、自分の問いの答えを探しながら自律的に学ぶことを意図するノート。
- ・E-CAT・・・English Conversational Ability Test の略称。アメリカの 4 技能開発機構が英語学習に励む学生や社会人向けに開発した「英会話力」を測定するスピーキングテスト。

### <引用文献>

- 山本崇雄. 2019. 『「教えない授業」の始め方』 アルク  
上山晋平. 2018. 『中学・高校英語スピーキング指導』 学陽書房  
三浦 孝, 池岡 慎, 中嶋 洋一. 2006. 『ヒューマンな英語授業がしたい!』 研究社

## 題 目 探究する自律型学習者 ―統合的な言語活動を通じて―

### 本時の目標

1. 会話を継続するための表現を用いて話す。(知識・技能)
2. 取り上げられる問いに対する自分の答えを伝え合う。(主体的に学習に取り組む態度)

### 本時の評価規準 (観点/方法)

1. 会話を継続するための表現を用いて話すことができる。(知識・技能)
2. 取り上げられる問いに対する自分の答えを伝え合おうとしている。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
1. Warm-up 帯活動 (15min)	・スピーキング活動(やりとり)	・目標を全体で確認する ・今日のトリオをスクリーンで指示する ・振り返りを書かせる
2. Review 本文内容確認 (12min)	・事実発問 ・動画視聴 ・音読活動	・問いの答えを探しながら視聴させる ・読みに難しさを感じる部分について適宜指導する
3. Speaking & Writing 表現活動 (20min)	・本日の問いを設定する ・問いに対する自分の答えを考える ・考えた内容をトリオで共有する ・聞いたり話したりした内容について全体で共有する ・自分の意見をノートに書く	・個人で思考した後、トリオで協力しながら話す準備をするよう支援する ・ローテーションを明確かつ簡潔に指示する ・ノートに記載してある表現を使いながら書くよう支援する
4. Consolidation 本時のまとめ (3min)	・本時のまとめを行い、ノートを提出する	・授業時間内に意見文を書き終わらない場合の提出方法について連絡する
備考		

Day 1

Day 2

Day 3

Day 4

Day 5

Day 6

Useful expressions for trio speaking

1 開始	<input type="checkbox"/> Let me try [go] , first. <input type="checkbox"/> Will you go first?
2 賛成	<input type="checkbox"/> I like your idea. (Your idea is nice.) <input type="checkbox"/> You're right. (Exactly.)
3 反対	<input type="checkbox"/> That may be so [I respect your opinion] , but I think . . . <input type="checkbox"/> I'm afraid I don't agree with you. (I don't think so.)
4 質問	<input type="checkbox"/> How about you? <input type="checkbox"/> Why do you think so? <input type="checkbox"/> What do you think?
5 相槌	<input type="checkbox"/> Really? (I see) <input type="checkbox"/> That's great (too bad). <input type="checkbox"/> Well, Um, Let me see,
6 繋ぎ	<input type="checkbox"/> Who's next? (→I'll be next.) <input type="checkbox"/> Do you have any ideas? <input type="checkbox"/> You said that ~, but [and] . . . ?

Express your opinion

O	Opinion 意見	<input type="checkbox"/> I think (believe) that~ <input type="checkbox"/> I agree (disagree) with the opinion that~ <input type="checkbox"/> I prefer~ <input type="checkbox"/> In my opinion,~
R	Reason 理由	<input type="checkbox"/> This is because~ <input type="checkbox"/> One reason is that~. Another is that~. <input type="checkbox"/> To begin with~ <input type="checkbox"/> First, ~. Second,~.
E	Example, Evidence Explanation, Experience 例, 証拠, 説明, 経験	<input type="checkbox"/> For example, ~ <input type="checkbox"/> In fact, ~ <input type="checkbox"/> According to ~ <input type="checkbox"/> In my experience, ~
O	Opinion 意見を最後にもう一度	<input type="checkbox"/> In conclusion, ~ <input type="checkbox"/> For these reasons, ~ <input type="checkbox"/> To summarize, ~ <input type="checkbox"/> To sum it up, ~

My Question

Story Mapping

1-4	5-8
9-12	

Summary


My opinion




## 実践上の留意点

### 1. 授業説明

#### ・技能統合型

本単元では話すことの中でもやりとりの力を育むことを目指し、読んだことについて話したり、話したことについて書くなど技能統合型の言語活動を多く取り入れた。

#### ・言語材料の扱い

教科書の内容理解に時間をかけすぎず、内容をもとに考える活動に繋げるため、新出単語熟語集については年度当初に配布し、2学期後半より和訳先渡しとしている。教科書の英文や言語材料についての分析的な扱いは過剰にならないよう留意している。

#### ・問いを立てる

本授業のテーマであり、教科書を読んで自分自身や実社会に結びつく問いを立て、意見を交換し、それをクラス全体で共有し価値観を広げるという流れとなっている。

#### ・トリオ（トライアングル）ディスカッション

3人組で話をする中で、ペア（2人組）よりも深く多様な内容に到ることや、話を振るなど対話中の自らの役割を見出すこと、相手の価値観が違うという前提のもと、多様な価値観を伝え合うことを目指す。ここでは3人組を“トリオ”として設定している。3人という単位の中で自分の意見を述べる、または他者に意見を求めながら会話を継続する力を養うことも目的としている。

#### ・自律型ノート

資料のワークシートを冊子にしたものを単元の開始時に配布し使用した。冊子には教科書の挿絵やサイトラシートも含まれている。分かったことを図や絵、言葉でまとめ、自ら問いを立てて自分なりの意見を書き込むことで思考の過程を記録し、自分の問いの答えを探しながら自律的に学ぶことを意図するノート。

#### ・E-CAT

English Conversational Ability Test の略称。アメリカの4技能開発機構が英語学習に励む学生や社会人向けに開発した「英会話力」を測定するスピーキングテスト。インターネット上の動画サイトにも掲載されており、生徒も自主的に取り組むことができる。

### 2. 研究協議より

#### ・Warm-up (Speaking)

タイムキーパーとして活動を成り立たせる役割と生徒に適切なフィードバックを行うバランスが教員に求められる。

#### ・Review (本文内容確認)

動画を視聴することで内容を理解することを目的としたが、動画で描かれていた描写がどのように教科書の英文で描かれていたかなどといった関連性を持たせるとより英語の学習として成り立つ。

#### ・表現活動 (Speaking&Writing)

生徒から引き出した問いを全体に投げかけ、考えた内容をトリオ、全体で共有した上で最終的な自分の意見をノートに記入するという流れで行った。ノートに記載し、予め与えた表現や構成をより意識させる工夫があればより生徒の作品の質が向上する。

